

## 第1分科会

## 上ノ国町立湯ノ岱小学校



## 1 研究主題

「自分の考えをもち、表現しようとする子どもの育成～国語科の読解力向上をめざした授業展開の工夫～」

## 2 研究内容

研究仮説を「国語科の読解を中心とした授業において、様々な文章を目的をもって読み、自分の意見を述べたり書いたりする機会を充実する指導を工夫することにより、本校の目指す読解力を身に付けさせることが可能となるだろう。」と「日常的な活動場面において、文章や言葉に触れる場を継続して設けることにより、語彙を豊かにし、言語に対する知識を深めることが可能となるだろう。」とし、国語の授業と、子どもたちの日常の取組(読書活動等)の両面から研究を進めてきた。

## 3 公開授業

公開授業① 2年生「きつねのおきゃくさま」

4年生「アーチ橋のしくみ」

2年生は、音読カード・ワークシート・ペーパーサート等を使い読み取りを深め、4年生は、各段落の構成を表にまとめ、わかりやすく説明する授業を構想した。

公開授業② 5年生「森を育てる炭作り」

6年生「人類よ、宇宙人になれ」

5年生一名は児童の実態に合わせ、指導計画の初期の段階で文章の構成を大まかにおさえておく計画で進め、6年生は、題材文における筆者の考えに対して、自分の考えをもってそれを発表した。

## 4 研究協議

2年生の音読カードが有効に使われていたことから、家庭での音読の必要、他者評価や自己評価における課題点や本校での実態、ワークシートの活用等について話された。高学年では文章構成を大まかにとらえるために使った主語・述語や小見出し、前に使用されていた教科書との比較等が話題になり、参加者から実践例も紹介された。

助言者からは①板書、複式授業の訓練、授業パターンの整理、道へき複の推進計画との関連②指導事項の重点化、読書活動の積み重ね、言語環境の工夫、個に応じた手だて等で講評をいただいた。

## 第2分科会

## 厚沢部町立館小学校

## 1 研究主題

算数の世界を豊かに楽しみ、  
～主体的な学び方を身に付けさせる学習指導～

## 2 研究内容

算数が苦手だったり、好きでない子どもたちに、算数の楽しさや自力解決の力や楽しさ、共同での学びの力をつけるために、以下の三つの仮説を設定した。

## 【仮説1】

課題を具体的に図式化やイメージ化させることで、見通しを持った課題解決ができる。

## 【仮説2】

教材教具の工夫や操作活動を取り入れることで、練り合いを深め、個に応じた習熟を図ることができる。

## 【仮説3】

学習集団における教科リーダーの役割と 自主学習の進め方を具体的に提示することで、主体的に学習を展開し、集団的に課題を解決することができる。

仮説①で授業の導入におけるイメージ化の工夫、仮説②で授業の展開における、効果的な操作

## 第5分科会

## せたな町立玉川小学校



## 1 研究主題

『学び合い、生き生きと表現する子どもを求めて』  
～「話す・聞く・書く・読む」力を生かした  
コミュニケーション能力の活用と育成～

## 2 研究内容

研究主題に迫るために、視点を次の3点に絞り研究を進めた。①指導計画の工夫・改善(コミュニケーション能力育成の重点項目)②コミュニケーション能力の育成(話す力・聞く力・受けて返す力の向上)③コミュニケーション能力の活用(受けて返す場の設定)

## 3 公開内容

①算数科 3年「長さをはかろう」

4年「はしたの大きさの表し方を考えよう」

授業のポイントは、それぞれの考えが個からグループへ、そして全体へとつながる授業展開であった。この場面に算数科におけるコミュニケーション能力の育成と活用が発揮された。

②国語科 5年「まんがの方法」

6年「短歌と俳句」

国語科の授業は、言語活動を通して、相手の考えを聞いた後自分の考えを伝える方法で受けて返す力の育成・活用場面がポイントであった。

③特別活動「緑の少年団 バザー集会」

集会の後半は、児童と参観された先生方との交流タイムもあり、異年齢交流が活発に行われていた。

## 4 研究協議

討議の柱を「子どものコミュニケーション能力を生かした学習指導」とし協議を進めた。子どもが伝えたい気持ちを表現できるようになるための手立てや、学習指導における直接指導と間接指導の軽重の付け方、コミュニケーション能力を活用する場の設定などについて意見が交わされた。

## 第6分科会

## せたな町立馬場川小学校



## 1 研究主題

「思いを伝え合い、豊かに表現できる子どもの育成」～自ら進んで表現する力を伸ばす指導のあり方(国語科・音楽科)

## 2 研究内容

研究主題を①「思いや考えを伝え合う力をはぐくむための話し合いの場づくり」②「学習効果を高めるための集合学習の推進」③単式授業による充実した学習活動の保障」の3つの視点から捉えることとし、授業研究等を積み重ね継続的に研究を進めてきた。

## 3 公開授業

公開授業① 全校音楽「曲の感じをとらえて」

グループ内で話し合いや練習を行いながら、曲にあった楽器を選択していた。リーダーが中心となり、下の学年の支援をしながら、楽しそうに表現活動をしていた。

公開授業② 3・4年国語「いろいろな詩と出会おう」

詩「おおきな木」のイメージを一人一人が絵や言葉で表現し、それをもとに、みんなで役割